

担当課	「自らの生き方の選択を可能にするための知識・技能習得」		「芸術・スポーツ活動の支援」		
	本市で実施している職業教育(職業体験など)について		本市で実施している社会教育について	本市で実施している取組について	
	商工振興課	学校教育課	社会教育課	文化振興課 スポーツ振興課	
1 事業概要について(目的とその効果について)	大村市会社概要説明会(平成29年度新規事業) 市内高校生へ市内企業のPR及び就職を促進するため、市内の高校生(2年生)及び保護者に対し、会社や事業内容等の説明等を行う。	各学校において、学習指導要領に基づき、総合的な学習の時間や特別活動の時間等を利用して職業教育を実施している。 中学校学習指導要領特別活動編では、学業と進路という内容において、学ぶことと働くことの意義の理解や進路適正の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観等を学習することとしている。 中学校学習指導要領総合的な学習の時間編では、職業や自己の将来にかかわる課題として、職業の選択と社会への貢献、働くことの意味や働く人の夢や願いなどをあげており、職場体験学習を積極的に取り入れることとしている。 これらのことを踏まえ、全中学校6校において、職場体験学習を実施しており、勤労観、職業観を育むことや、新たな自分を発見すること、コミュニケーション能力、社会的スキルを身に付けること等、職場体験がもたらす教育的効果は高い。 生徒の感想には、「働くことの大切さを感じた」、「親や周りの大人たちが頑張っていることに感心した」、「コミュニケーションの大切さを知りました」、「学校での勉強が大事だということがよくわかりました」などがあつた。	市内各公立公民館(中央、中地区、郡地区)では、市民の学習意欲の高揚を図り、教養の向上、健康寿命の増進、仲間づくりなど、公立公民館に人が集い、学び、人と人をつなぐという目的で、青少年、子育て中の母子、成人一般、高齢者等を対象に公民館主催講座を開催している。 効果としては、講座に参加し、団体行動をすることで、やりがいや生きがい等の人生における楽しみが生まれ、学習意欲の向上につながっている。	芸術活動の支援 文化活動振興費補助金 芸術文化団体が行う活動に対して、文化基金を活用し、補助を行う。 平成29年度から、小中学校の大会遠征費の補助率を上げる。 財政基盤が脆弱な各団体の活動を支援することができる。 文化活動激励費 芸術文化活動において、全国・九州大会など出場する人(団体)に対する激励費を新設する。 まちかど市民ギャラリー運営事業補助 市民団体が運営する市民ギャラリーの運営費の補助を行う。 大村市文化協会の運営 市内の文化団体が多く加盟する文化協会の運営を連携して行う。 市の関与により、安定的な運営を行うことができる。	①市内のスポーツ20施設の管理運営業務を指定管理者に委託し、施設の快適な利用を促進する。 ②県代表として九州・全国・国際大会へ出場する小中学生の社会体育クラブ又は個人に対し旅費・宿泊費を対象とした補助を行い、小中学生の保護者負担の軽減し、スポーツの推進を図る。 ③小学校区内で行われる地域スポーツイベントに対する助成を行い、スポーツ人口の底辺拡大及び生涯スポーツの推進を図る。
2 参加人数(実績)等について	対象 高校2年生(500人)(市内への通学者及び市内在住者)及び保護者(500人) 市内事業者15社程度	【中学校】 ●職場体験学習 全6校(中学校2年生を対象に3日間)で実施 H28…計 964名参加(2日間参加16名) H27…計1031名参加 H26…調査なし ●社会人を招いての講演会等 4校実施 1年のみ1校 1、2年で実施2校 全校実施1校 【小学校】 ●職場見学 7校実施 ●職場体験学習 1校実施 ●社会人を招いての講演会等 7校実施	中央、中地区、郡地区合計 H28年度 講座数 60 受講者数 1,249人 (延参加数) 6,148人 H27年度 講座数 55 受講者数 1,148人 (延参加数) 5,479人 H26年度 講座数 54 受講者数 1,170人 (延参加数) 5,946人	文化活動振興費補助金 補助団体 H26年度 9団体 H27年度 11団体 H28年度 12団体 まちかど市民ギャラリー運営事業補助 H26年度 48団体 28,317人 H27年度 51団体 24,738人 H28年度 48団体 23,479人 文化協会加盟人数 H26年度 81団体 1,617人 H27年度 79団体 1,542人 H28年度 78団体 1,499人	①市内のスポーツ20施設利用者数 平成26年度 439,954人 平成27年度 454,933人 平成28年度 449,022人 ②小中学生九州・全国・国際大会助成金申請者数 平成26年度 428人 平成27年度 352人 平成28年度 357人 ③小学校区域内で行われる地域スポーツイベントに対する助成件数 平成26年度 13件 平成27年度 14件 平成28年度 14件
3 実施期間について	日時 平成29年8月8日(火) 14時から16時30分 (開場13時30分) 場所 コミセン大会議室	●職場体験学習 【実施期間】 全6中学校とも3日間で実施 【実施時期】 6月中旬から7月上旬 … 4校 1月下旬 … 2校	○通年講座 5月から3月までの期間に毎月1回や隔月1回開催等で、6回から11回程度開催している。 ○前期講座 5月から9月までの期間に毎週1回や隔週1回開催で、6回から10回程度開催している。 ○後期講座 10月から12月までの期間に毎週1回や隔週1回開催で、6回から10回程度開催している。 ※子ども対象講座は、夏休み期間中に夏休み子どもワクワク工作ひろば(全6講座)を中央公民館で開催し、冬に冬の子ども教室を各館で2講座程度開催している。	文化活動振興事業補助金 各団体の年間を通じた活動を対象に補助を行う。 まちかど市民ギャラリー運営事業補助 ギャラリーの年間の運営に対して補助を行う。 文化協会の運営 年間を通して行う。	①スポーツ施設の指定管理者制度 平成18年～ ②小中学生九州・全国・国際大会遠征費助成金制度 平成11年～ ③小学校区スポーツ大会開催費補助金制度 平成6年～

	「郷土の歴史・伝統文化の継承」	「外国語教育」	
	本市で実施している伝統文化を学ぶ機会について	本市で実施している取組について	
担当課	文化振興課	学校教育課	企画政策課
1 事業概要について（目的とその効果について）	郷土史クラブ事業 市内の各小中学校に郷土史クラブを設け、大村の歴史や伝統文化を学ぶ。 子どもの頃から、郷土の歴史・文化に興味を持ち、郷土愛を育むことができる。 史料館事業 史料館の展示や講座などを通して、郷土の歴史等を紹介する。 小中学校の総合的な学習の時間と連動して、講義や史跡探訪等も行う。	英語教育の重要性から本市は、ALTを13名、ALTの支援を行うALTコーディネーターを2名雇用している。ALT雇用数は、21市町の中で、2番目に多く、学校に配置する割合（小中学校数÷ALT数）は、大村市が長崎県内トップである。また、ALTコーディネーター配置は、県内でも珍しく、本市が英語教育に力を入れていることの証である。 13名のALTを活用して、通常の配置以外に小学校訪問を実施している。また、市内の幼稚園5園、保育所1所を訪問し、より早い時期に外国人と接したり、ネイティブの英語に触れる機会をつくるよう努めている。 毎年、夏季休業中を利用して、小学校3年生～6年生の希望者を対象に、インターナショナルデイズを市内2か所で開催している。例年、ALTとの会話や活動等を楽しみ、感想用紙には「英語でコミュニケーションができた」、「楽しかった」、「良い思い出になった」、など書いてあり好評である。 また、平成28年度の新しい取組としては、中学校対象のイングリッシュデイズと同日に暗唱大会を開催し、県主催の暗唱大会への出場権をかけて立派な暗唱発表を行った。 小学校3年生からの外国語活動導入及び5年生からの教科化に対し、昨年度まで旭が丘小学校と三城小学校で教育課程特例校の許可を受け、県及び市の指定を受けて、昨年度研究発表会を開催し、研究の成果を公開した。 また、小学校の教員に対し、小学校外国語活動研修会を実施したり、ALTの小中学校配置を増やしたりするなど、2020年に向けた取組を進めている。	事業内容 ①グローバルクラスルーム 小学生から成人まで4クラスに分け、英語のみで行う講座。 英語の学習だけではなく、海外の授業を体験させる。 ②英語の絵本の読み聞かせ 対象者 ①小学生から成人まで ②乳幼児とその保護者 目的 ①英語で話したり、自分の意見を伝える場を設けることで、参加者の英語力の向上を図る。 ②就学前から英語に触れることで、参加者に英語に対する親しみを感じてもらう。 効果 ①英語力及びコミュニケーション能力の向上。 ②年々参加者が増加しており、英語力の向上が図られている。
2 参加人数（実績）等について	郷土史クラブ事業 H26年度 14校 143人 H27年度 14校 149人 H28年度 13校 183人 史料館事業 H26年度 6,787人 H27年度 6,808人 H28年度 7,554人	【幼稚園・保育所】 ●通常訪問 H28…計16回、H27…計14回、H26…計18回 ●クリスマス訪問 H28…計 6回、H27…計 5回、H26…計 6回 【小学校】 ●小学校訪問 H28…14校、H27…14校、H26…11校(14回) ●インターナショナルデイズ H28(1日目…34名参加、2日目…59名参加) H27(1日目…66名参加、2日目…81名参加) H26(1日目…95名参加、2日目…97名参加) 【中学校】 ●イングリッシュデイズ H28…6名参加、H27…23名参加、H26…13名参加 ●暗唱大会 H28…10名(H28新規事業) 【小学校外国語活動研修会】 対象…各小学校教員1名以上、希望する中学校英語科教員 H28…25名参加(1回目)、30名参加(2回目) H27…27名参加(1回目)、22名参加(2回目) H26…51名参加(1回のみ実施)	①年度 H26 311人 H27 488人 H28 499人 ②年度 H26 318人 H27 613人 H28 1088人
3 実施期間について	郷土史クラブ事業 例年 4月～2月 調査・見学・研究 8月 市内外見学ツアー 2月 成果発表会 3月 成果展示会 史料館事業 年間を通じ実施	【幼稚園・保育園】 ●通常訪問 6月～11月 ●クリスマス訪問 12月 【小学校】 ●小学校訪問 6月～12月 ●インターナショナルデイズ 8月下旬 【中学校】 ●イングリッシュデイズ H28…12月10日、H27…12月19日、H26…8月24日 ●暗唱大会12月10日 【小学校外国語活動研修会】 H28…6月13日(1回目)、2月1日(2回目) H27…6月12日(1回目)、2月4日(2回目) H26…1月6日(1回のみ実施)	①平成24年9月から毎月1回開催。 ②平成26年8月から毎月1回開催。